


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 講師</p> <p>相 田 ま り （あいだ まり）</p> <p>AIDA Mari</p>
所属	保 育 科
学位	修士（教育学）（東京大学）
資格・免許	中学校教諭専修免許状（社会） 高等学校教諭専修免許状（社会）
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2012年3月 明治大学政治経済学部経済学科 卒業 （学士（経済学））</p> <p>2017年3月 東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻修士課程 修了 （修士（教育学））</p> <p><職歴></p> <p>2012年4月 株式会社TBS サービス 総合職（2015年3月まで）</p> <p>2018年4月 明星学園高等学校 非常勤講師（2019年3月まで）</p> <p>2018年9月 明星学園高等学校 非常勤講師（2021年3月まで）</p> <p>2019年4月 日本リハビリテーション専門学校 非常勤講師 （2021年3月まで）</p> <p>2021年4月 山梨学院短期大学保育科 専任講師（現在に至る）</p>
担当科目	<p>保育原理 保育職論 在宅保育 教育課程論</p> <p>保育実習指導Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所）</p> <p>保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅱ（保育所）</p> <p>幼稚園教育実習指導（2年） 幼稚園教育実習Ⅱ 教職実践演習（幼・小）</p> <p>知的生活の探求 保育学（学際）</p> <p>基礎演習 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ</p> <p>保育学特論（専攻科） 教育課程特論（専攻科） 現場研修（専攻科）</p>
専門分野	教育学 教育思想史
現在の研究テーマ	大正期における保育・教育の思想研究
競争的資金等の研究課題	戦後日本の保育思想に関する歴史的研究—羽仁説子の保育思想に着目して— （科学研究費助成事業 2021年8月30日～2023年3月31日）
所属学会	日本教育学会 世界新教育学会 幼児教育史学会
メッセージ	<p>受験のための勉強ではなく、自分の知りたいこと・考えたいことについて学ぶことは、知識を増やすだけでなく、自分の人生をより豊かなものにしてくれます。授業や実習を通して保育に関する学びを深めるのはもちろん、保育以外のことにも目を向けて、興味を広げていってください。</p>

教育	
2021年4月～2022年3月	
教育方針	よりよい保育・教育のあり方を学生とともに考えていきたい
授業	<p>授業の工夫</p> <p><保育原理（保育科1年生）> 保育とは何か。まずは自分自身の経験を振り返り、保育とはどのような営みかを問うところから始めた。ただ子どもの世話をするだけでなく、一人一人の子どもがよりよく生きられるように、どのようなかわりをすればよいのか、具体的な場面も想像しながら、グループワークなどで話し合いをした。また、日本における保育・幼児教育の制度を理解するために、法律や保育所保育指針等についても学習した。</p> <p><保育職論（保育科2年生）> 1年生で学んだことを土台として、基本的な事項を復習しながら、さらに知見を広げられるような授業を目指した。例えば、保育の歴史を振り返り、現代の保育を相対化し多様な視点から保育を捉えられるような授業を行った。また、各自の実習での経験等も振り返りながら、どのようにすれば一人一人の子どもに寄り添った保育が実現できるのか、具体的な事例に基づいて検討するグループワークも行った。</p> <p><教育学特論（専攻科2年生）> 4年間の学びを振り返りながら、教育とはそもそも何か、どのような教育がよい教育なのかを考えられるような授業を心掛けた。具体的には、近代以降の教育の歴史を振り返りつつ、現代とは異なる多様な教育の捉え方があることを確認し、それらと自分自身との経験とを照らし合わせながら、よりよい教育とは何か、教育者として大切にしたいことは何かを考えるためのワークや討論を行った。</p>
	<p>授業改善のための取組</p> <p>毎回授業の終わりにコメントを書いてもらい、次の時間に質問に応じたり、関連する情報を提供したりしている。また、その時々ニュースや新しい取り組みなども紹介し、保育・教育、そしてそれらを取り巻く社会の状況について興味を広げてもらえるよう心掛けている。</p>
ゼミ	<p>ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）</p> <p>保育・教育に関する知見を広げるために資料を共有する一方で、個々人の興味関心に沿った調査ができるよう、個人またはグループでの調査発表を並行して行っている。2021年度の卒業レポートについては、各自の関心のあるテーマについて深められるよう、前期・後期にわたって個人での調査発表を行い、レポートの執筆を進めた。単にそのテーマについて知るだけでなく、学生自身がどのようなことに疑問を抱いたのかを掘り下げていくことによって、内容を深めていくことを大切にしたい。</p>

教育 (つづき)		
2021年4月～2022年3月 (つづき)		
ゼミ	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p><卒業レポートテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な SNS について ・NEWS の魅力ー 4 人時代を振り返ってー ・HSC・HSP の特徴と対応について ・保育観ー保育観の形成過程における保育者の人間性と保育観の関係ー ・ジャニーズタレントとジャニーズオタクの関係性について ・自傷行為とその対応ー生きやすくなるためにー ・ジャニーズの魅力から学ぶ人気の秘訣 ・指導力ー楽しい授業をつくりあげるためにー ・ディズニープリンセスの女性像の変化 ・子どもと絵本 ・子どもの外遊びについてー効果、歴史、事故防止対策などー ・心理的プレッシャーとパフォーマンスの関係性 ー緊張と上手く付き合っていくためにはー ・現代の日本における流行音楽の特徴と背景 ・初音ミクの魅力ーAKB48 と初音ミクを通してみえるものー ・SDGs を達成しよりよい世界にするには ー未来を変えたアイデアと私たちにできることー
課外活動	課外活動指導を担当していない。	
2021年3月以前		
主な教育業績	該当なし	

研究		
2021年4月～2022年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
該当なし		
2021年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） 大正新教育の実践（プラクシス）－交響する自由へ－ （共著） <担当部分> 第5章 羽仁もと子における「自由」－「自労自活」の生活と「宗教心」の教育－（pp. 135-162）	2021年1月	東信堂
（学術論文） 幼児教育におけるリトミックのインクルーシブ教育への示唆－小林宗作におけるリズムと社会の関係に着目して－ （単著）<外部リンクあり> https://ci.nii.ac.jp/naid/120007115911	2021年3月	東京大学大学院教育学研究科紀要第60巻
（学術論文） 教育課程におけるシティズンシップ教育の多様性－自由学園男子部の実践に着目して－ （共著）<外部リンクあり> https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD11399456	2020年12月	東邦大学教職教育研究 第3号
（学術論文） 査読付 羽仁もと子の教育思想における神の二面性について （単著）<外部リンクあり> https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/records/49815#.YjLp_Y_P2Uk	2018年7月	東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室研究室紀要第44号
（学術論文） 査読付 羽仁もと子の教育思想における『自由』－『宗教心』との関係に着目して－ （単著）<外部リンクあり> https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/records/49060#.YjLsDo_P2Uk	2017年7月	東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室研究室紀要第43号
（その他：学会発表） 羽仁もと子の思想と自由学園の道德教育－創立期の実践に着目して－ （単独）	2020年9月	世界新教育学会
（その他：学会発表） 羽仁もと子の音楽教育思想－自由学園での実践に着目して－ （単独）	2019年6月	世界新教育学会
（その他：学会発表） 羽仁もと子の家庭教育論－『宗教心』の教育に着目して－ （単独）	2018年9月	日本教育学会

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2021年4月～2022年3月
<ul style="list-style-type: none"> ・やまなし幼児教育センター 幼児教育アドバイザー（2021年7月～2022年2月） ・山梨県子育て政策課 保育所等関係職員研修 講師（2022年2月） ・山梨県社会福祉協議会 民間保育士等キャリアアップ研修 講師（2022年3月） ・『新教育ライブラリ PremierⅡ』Vol.6（ぎょうせい、2022年3月刊行）内、「教育実践史のクロスロード」（リレー連載・最終回）への執筆
2021年3月以前（主なもの）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育思想史学会 事務局幹事（2018年～2021年3月）
受賞 ※個人、所属団体
該当なし